

平成 28 年度 自己評価結果公表シート

作成 神童幼稚園

1、本園の教育目標

本園は、「平和と共生をめざす、寛容で自立した人間の育成」をめざします。毎朝90分間の時間・空間・仲間・ゆとりの間を保障した「のびのび充実保育」を通して自立・自律心を養い、幼児の興味関心に沿った遊びや生活を展開し、仲間との協同の活動に発展する保育をめざします。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・幼保で教育観、保育観を共有する
- ・幼保連携型こども園として各種マニュアルの整備
- ・災害対策としての食料品等の備蓄整備

3、評価項目の達成及び取組状況

| 評価項目 | 取組状況 |
|--|--|
| キンダー(3～5歳児)、ナースリー(0～2歳児)両部門で教育観、保育観を共有する | 週1回の園長、副園長、教頭、主幹保育教諭、給食担当者によるリーダー調整会議に加えて、月1回全保育教諭参加の全体(研修)会を開催し、キンダー、ナースリー部門間での教育保育内容や進捗状況の共有や保健衛生、緊急対策等の対応について共通理解をはかった。 |
| 保幼保連携型こども園として各種マニュアルの整備 | 保育環境スケールの参考資料を収集し策定準備を行った。また衛生対応マニュアルを作成した。 |
| 災害対策としての食料品等の備蓄整備 | 給食室でのローリングストックを併せて、備蓄米(400食分)を備蓄した。また災害時運搬具としてアルミ製組立式リヤカー2台を整備した。 |

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

幼保連携型認定こども園への移行2年目で、合同での研修の機会も増えたことから元幼稚園、元保育園の職員間の交流を重ね、意識や保育観のギャップは徐々に埋めることが出来た。しかし、教育保育計画を職員協同で進めるには時間が不足し至らなかった。

次に災害対策面では、少しずつ備蓄も始めることができたことに加え、緊急事案発生時に大阪府府警へダイレクトに通報するシステムも再稼働することができ、安全への対応を進めることが出来た。

5、今後取り組むべき課題

| 課題 | 具体的な取り組み方法 |
|-----------------------------------|--|
| 保育教諭全体で教育保育計画を作り上げる。 | 全体(研修)会の下に、細分化して教育保育計画を協議できる部会を設ける。 |
| 幼保連携型認定こども園教育保育要領改訂を見据えて保育環境を見直す。 | ・保育環境スケール策定を進める。 ・園児の遊び、生活空間の環整備をはかる。 ・3～5歳児学級の二人担任編制をはかる。 |

6、財務状況

公認会計士による監査により、適正に運営されていると認められています。

以上